

# press release

2009年1月16日

(これは、1月13日付でグローバルで配信したものを、日本の皆様に向けて抄訳したものです)

## パラリンピックマラソン金メダリスト、高橋勇市さん、 スタンダードチャータード銀行主催ムンバイマラソンに出場

スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、CEO:ピーター・サンズ、東京支店:千代田区、CEO:パトリック・ジロ)が主催するグレイテスト・レース・オン・アース(GROE)のひとつ、1月18日(日)に開催されるムンバイマラソンに、アテネパラリンピックでT12男子マラソン金メダリスト、全盲ランナーである高橋勇市さんが、GROEの視覚障害者(VI)オールスターチームの一員として出場します。

世界的な国際マラソンシリーズである GROE が、今回初めて当行がグローバルに展開する回避可能な視覚障害問題に取り組むプログラム、Seeing is Believing と結びつき、レースを展開中です。Seeing is Believing、視覚障害への意識を高めるために VI オールスターチームが結成され、4つのマラソンレースを走ります。GROE は、ナイロビ(2008年10月26日)、シンガポール(12月8日)、ムンバイ(2009年1月18日)、香港(2月8日)の4都市で開催され、ナショナルチームがその総合タイムを競います。

高橋勇市さんを始めとする VI オールスターチームの4人が、それぞれのレースに出場します。GROE オープニングレースであるナイロビマラソンのヘンリー・ワンヨイケさんから、ブラジルのアレックス・メンドンカさん(シンガポール大会)と引き継がれたバトンを、高橋さんが受け継ぎ、それを香港で行われる最終レースを走る、北京パラリンピックマラソンチャンピオンであり世界記録保持者のキー・シュンさんに渡すこととなります。

全盲である高橋勇市さんは、現在43歳、妻の高橋嘉子さんと菅原寿和さんを伴走者として、レースに参加します。高橋さん夫妻はマラソンチームにおけるトレーニング中に出会い、結婚5年目。高橋嘉子さんは勇市さんの伴走者兼サポーターとして一緒に走り続けてきました。

高橋さんは2004年「かすみがうら大会」において優勝、2時間37分43秒という世界記録(当時)を樹立し、その後、同年のアテネパラリンピックで、男子マラソン金メダルを獲得するなど、世界的な視覚障害者マラソンランナーとしての地位を築いてきました。

ムンバイで走るのは今回初めての高橋さんは、「アテネパラリンピックでもそうでしたが、私は暑さの中で走ることに自信があります。暑ければ暑いほど、より頑張ろうという気持ちが出てきます。参加する36のナショナルチームと競うことを楽しみにしています。トップグループでのゴールを目指します」と、暑さと湿度に立ち向かうことに自信を見せました。

高橋さんと VI オールスターチームのメンバーは、当行と国際失明予防協会(IAPB)がパートナーシップを組んで推進する Seeing is Believing への募金活動と啓蒙活動を目的として、レースに参加しています。

マラソン開催を前に、高橋さんは次のように語りました。

「回避可能な視覚障害は、世界における大きな課題です。私が走ることによって、この問題に対する意識を高めることに貢献できれば、とてもうれしいことです。また VI オールスターチームとしても、以前競い合っていたライバルたちとともに、Seeing is Believing のためにチームとして協力しあうことは、本当に素晴らしいことです」

世界では5秒に1人が失明していますが、その75%は比較的簡単な手段により回復、予防が可能です。例えば、1米ドルあれば、子供に視力の発達に欠かせない十分なビタミンAを買うことができ、また33米ド

ルあれば白内障の手術が可能です。GROE を通じて集められた募金は、世界中の人々の生活に大きな影響を与えることとなります。

VI オールスターチームに加えて、78 人のスタンダードチャータード銀行のスタッフが、Seeing is Believing のために、ハーフマラソンチャレンジに参加します。GROE の詳細と、募金方法については以下のサイトをご覧ください。

[www.seeingisbelieving.org.uk/groe](http://www.seeingisbelieving.org.uk/groe)

当件に関するお問い合わせは下記にて受け付けます。

森田 早智  
スタンダードチャータード銀行 東京支店  
コーポレートアフェアーズ部  
Tel: 03-4360-8737 / Fax: 03-4360-8897  
[Sachi.Morita@standardchartered.com](mailto:Sachi.Morita@standardchartered.com)

クリストファー・ドミター  
スタンダードチャータード銀行 東京支店  
コーポレートアフェアーズ部 部長  
Tel: 080-1037-6223 / Fax: 03-5511-9333  
[Christopher.Domitter@standardchartered.com](mailto:Christopher.Domitter@standardchartered.com)  
(日本語で対応します)

## (参考資料)

### グレイテスト・レース・オン・アース 2008/2009

今期で 5 回目を迎えるスタンダードチャータード銀行主催の「グレイテスト・レース・オン・アース (GROE)」は、4 人のチームで 1 人ずつ、過酷なレース条件といわれるナイロビ、シンガポール、ムンバイ、香港の 4 都市で開催されるマラソンを走り、総合タイムを競う唯一の国際リレーマラソンです。

マラソンは伝統的な個人競技ですが、GROE においては創設以来、チームスポーツとして行われています。

レースが行われる世界屈指の 4 都市は、マラソンランナーにとり、もっともチャレンジングな環境といわれています。ナイロビの標高の高さ、シンガポールでは湿度の高さ、ムンバイでは暑さ、そして香港では厳しい上り坂が選手を苦しめます。

- ナイロビ・アフリカ(標高1600m超の最高値レース) 2008年10月26日
- シンガポール(シンガポール島1周レース) 2008年12月 7日
- ムンバイ・インド(ムンバイにおける歴史的レース) 2009年 1月 18日
- 香港(香港の港を横断するレース) 2009年 2月 8日

これらの厳しいレースを最後まで戦い抜くためには、スタンダードチャータード銀行のコアバリューでもあるパートナーシップ、チームワーク、信頼、勇気が求められ、これが勝利のかぎを握ることになります。

今回は男性23チーム、女性13チームのあわせて36チームのナショナルチームが、GROEのナショナルチャレンジに参加しています。

### Seeing is Believing (視覚障害者支援プログラム)

Seeing is Believingは回避可能な視覚障害をなくすためのスタンダードチャータード銀行のグローバルな取り組みであり、国際失明予防協会 (IAPB) とのパートナーシップにより推進しています。IAPBは視覚障害の問題に取り組んでいるNGOの包括的組織です。2020年までに回避可能な視覚障害をなくそうというグローバルキャンペーン 'Vision2020 - The Right to Sight' として、世界保健機構 (WHO) とともにスタートしました。

Seeing is Believingでは、今までに視覚障害のための募金1700万米ドルを集め、2014年までにさらに2000万米ドルを集めることを目指しています。Seeing is BelievingはVision2020のプログラムのために

IAPBを通じて最大の貢献をしています。Seeing is Believingへの詳細にはついては、以下のサイトからご覧ください。[www.thegreatestrace.com](http://www.thegreatestrace.com)

Seeing is Believingにおいて、スタンダードチャータード銀行は目標募金額2000万米ドルに対して同額の寄付を約束しています。

### スタンダードチャータード銀行ーアジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータード PLC は、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースで FTSE100 構成銘柄の上位 25 社にランキングされています。ロンドンに本拠地を置く当行グループは、創立以来 150 年以上の歴史を誇り、世界で最もダイナミックな市場ーアジア・アフリカ・中東地域における先駆者として事業展開しています。また、この 5 年間で収利益共に 2 倍強の成長を達成いたしました。これは事業母体からの収益成長(オーガニック成長)に加えて買収事業の後押しによるものです。

スタンダードチャータード銀行は、お客様のニーズに注力した世界最高の国際銀行を目指しています。当行グループが計上する営業収益および営業利益の 9 割以上は、アジア・アフリカ・中東地域で事業展開するホールセールバンキング・コンシューマーバンキング両部門の事業収益から創出されています。また、世界 70 カ国以上で 1,750 店舗を展開するグローバル事業ネットワークを有し、その市場やビジネスにおける飛躍的な成長により国際的なキャリア構築の機会を生み出しているのです。

当行グループでは、ステークホルダーである皆様の「真のパートナー」として長期的視野に立ったサステナビリティ(持続性)のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでの企業統治(コーポレートガバナンス)を保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を勝ち得ています。現在、115 以上の国籍により構成される総勢 75,000 余名の行員(その約半数は女性)を擁し、上級管理職の国籍は 60 に及んでいます。

### 日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で128年となりました。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店(千代田区・岸本ビル)において約290名の従業員を擁しています。スタンダードチャータード銀行は、アジア・アフリカ・中東の各地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けにホールセール(大口金融)、カストディ、トレジャリー、トレードファイナンス等の金融サービスを提供するほか、2005年には個人のお客様向けに「プライオリティバンキング」部門を開設し、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト(英語): [www.standardchartered.com](http://www.standardchartered.com)

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(日本語): [www.standardchartered.co.jp](http://www.standardchartered.co.jp)

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(英語):

[www.standardchartered.co.jp/index\\_english.html](http://www.standardchartered.co.jp/index_english.html)